



NEP杯 第18回日本少年野球静岡大会

日時 令和5年5月13(土)14(日)20(土)

[予備日 5月21日(日)]

会場 愛鷹球場 裾野球場 富士球場 ほか



主催
後援

(公財) 日本少年野球連盟
(公財) 日本少年野球連盟

静岡県支部

協賛



株式会社 NEP

 ボーイズリーグは一切の暴力、暴言を禁止しています



公益財団法人 日本少年野球連盟

BOYS LEAGUE

中日本ブロック

野 球 を し な が ら
団 結 ・ 友 愛 ・ 規 律 ・ 勇 気 ・ 忍 耐
を 身 に つ け よ う

(公財) 日本少年野球連盟規約 第3条

本財団は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に

正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の錬磨と

スポーツマンシップを理解させることに努め、

規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、

もって次代を担う少年の健全育成を図ることを目的とする。

公益財団法人 日本少年野球連盟

会長 惣田敏和

[本部] 大阪市浪速区日本橋西1丁目3番19号
南海日本橋ビル2階

TEL (06) 6649-0061

野球をやるならボーイズリーグ

大会役員

顧問	(公財)日本少年野球連盟 会長	惣田敏和
	(公財)日本少年野球連盟 特別相談役	堀内健
	(公財)日本少年野球連盟 副会長	工藤真一
	(公財)日本少年野球連盟 中日本ブロック長	松本行弘
相談役	(公財)日本少年野球連盟 理事待遇	杉浦真一
大会名誉会長	西山恭平	(株式会社NEP 代表取締役)
大会会長	矢田正行	(静岡県支部支部長)
大会副会長	瀧澤広行	(静岡県支部副支部長・事務局長)
	宮本博之	(静岡県支部副支部長)
大会実行委員長	瀧澤佳孝	(富士ボーイズ 代表)
大会参与	須藤良則	(綾瀬ボーイズ代表)
	勝田英二	(岡崎中央ボーイズ代表)
大会運営委員長	鈴木貴司	(静岡県支部企画運営部 部長)
大会運営副委員長	芹澤輝充	(御殿場ボーイズ 代表)
	山田登	(島田ボーイズ 代表)
	進士佳典	(静岡県支部事務局)
大会運営委員	山本浩士	(浜松ボーイズ 代表)
	榎山浩	(スルガボーイズ 代表)
	芦澤厚史	(静岡葵ボーイズ 代表)
	熊切大介	(静岡府中ボーイズ 代表)
	富樫憲之	(浜松北ボーイズ 代表)
	大木実	(浜松修学舎中学ボーイズ 代表)
	宮本浩和	(下田ボーイズ 代表)
	池田竜二	(菊川ボーイズ 代表)
	森重明	(大井川ボーイズ代表)
	中村好寛	(磐田ボーイズ代表)
大会広報委員長	瀧澤佳孝	(富士ボーイズ代表)
大会審判部顧問	小川潔	(中日本ブロック審判長)
大会審判長	高林俊光	(静岡県支部審判長)
大会副審判長	中山真樹	(静岡県支部副審判長)
大会副審判長	杉山晴道	(静岡県支部副審判長)
大会審判部	静岡県支部審判部 審判団	
大会会計	鈴木寿一	(富士ボーイズ副代表)
大会事務局長	市川修二	(富士ボーイズ副代表)
大会運営協力	駿東ボーイズ父母会	富士ボーイズ父母会
	御殿場ボーイズ父母会	スルガボーイズ父母会
	下田ボーイズ父母会	

◆NEP杯第18回日本少年野球静岡大会 大会日程◆

開催日 令和年5月13日(土) 5月14日(日) 5月20日(土)
予備日 5月21日(日)

球場 愛鷹球場 裾野球場 富士球場 ほか

大会受付 令和5年5月13日(土) AM 8:00 各球場にて

開幕式 開催いたしません
優勝返還式は、5月13日 愛鷹球場にて8:45から行います。

閉会式 決勝後に優勝旗・優勝杯授与式を行います。

試合開始予定時間 & 球場担当チーム

月	日	曜日	確保球場	開門	第1試合	第2試合	第3試合	担当チーム
5	13	土	富士球場	7:30	9:00	11:30	14:00	富士ボーイズ
			愛鷹球場	8:00	9:00	11:30	14:00	御殿場ボーイズ
			裾野球場	8:30	10:00	12:30		駿東ボーイズ
5	14	日	富士球場	8:30	10:00	12:30		スルガボーイズ
			愛鷹球場	8:30	10:00	12:30		御殿場ボーイズ
5	20	土	富士球場		準決1 9:00	準決2 11:30	決勝戦 14:00	富士・駿東 ボーイズ
5	21	日		7:30				予備日

注) 富士球場は5/21のみサブグラウンドを専有できますのでご利用してください。 13日は使用不可です。

注) 試合の経過により試合開始予定時刻より試合開始が早くなる場合がありますので参加チームはご注意ください。

球場責任者

球場名	球場住所	球場責任者
富士球場	〒417-0809 富士市中野671	富士ボーイズ 瀧澤代表 080-4120-3900
	TEL0545-36-1140	
愛鷹球場	〒410-0001 沼津市足高202	御殿場ボーイズ 芹澤代表 090-9925-5147
	055-924-8878	
裾野球場	410-1104 裾野市今里1616-1	駿東ボーイズ 鈴木代表 090-3564-3904
	TEL055-997-7277	

順延時 都度支部にて決定後、該当チームの代表へ連絡します。
* 中止決定は、当日6:00に担当チームが判断し、該当チームの代表及び大会運営委員長、事務局長、審判委員長へ連絡してください。

静岡大会予備球場について

今大会が雨天順延となる場合は、下記予備球場に変更がある場合があります。
球場変更については天候状況により前日17:00までにメールにより配信いたします。

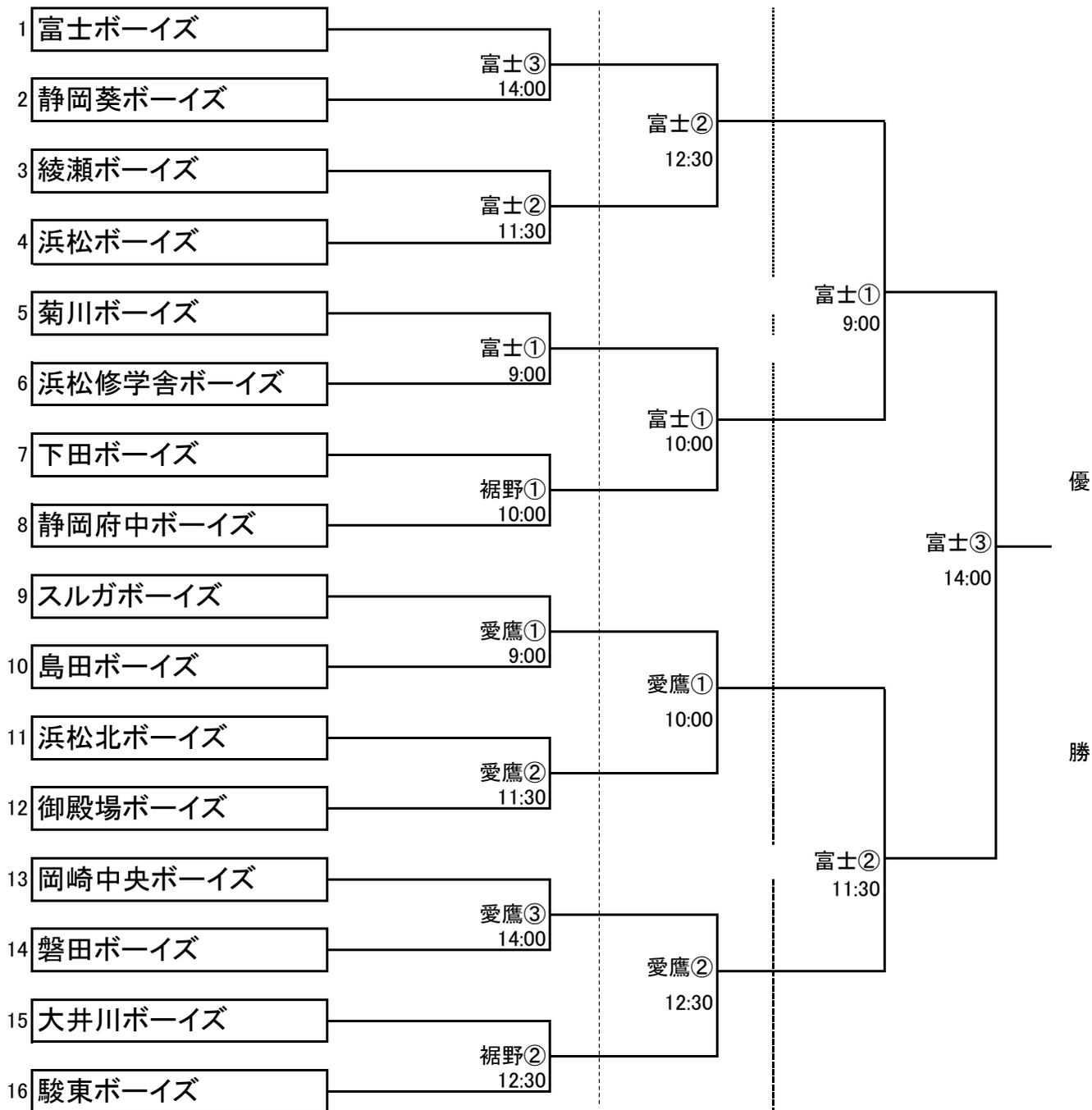
5/20(土) 富士ボーイズグラウンド、5/21(日) 富士球場

審判費用 各球場にて審判員費用を清算します。
* 各球場責任者は、責任審判より表を受理し、該当額を支払ってください。

結果報告 担当チームは、試合結果を連盟試合速報システムの運用・支部役員ラインに送信をお願いします。
* 詳細結果用紙は、瀧澤広報部長へ写真メールしてください。

備考 ゴミは必ずお持ち帰りください。

第18回NEP杯日本少年野球静岡大会トーナメント表



NEP杯第18回日本少年野球静岡大会大会規定

- 1・チームの登録選手は中学生の部は11名以上25名以内（ベンチ入りは20名以内）とする。また、小学生の部は11名以上20名以内とする。
- 2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。
- 3・審査証は当年度発行のものとする。
- 4・オーダー表記入選手20名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることができる。但し各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査の上ベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者が不在の場合は試合できない。
- 5・組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。但し、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
- 6・監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 7・試合開始時刻60分前までに試合場に到着し、直ちにオーダー表を5部、投球回数記録副表3部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出のうえ所定の審査を受けなければならない。
- 8・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
- 9・試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- 10・試合方法など
 - ・中学生の部
 - (1)各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えた場合、新しいイニングには入らない(後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - (2)4回終了時(後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は、4回終了時)10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3)7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回(決勝戦は10回)あるいは試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。
(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
 - (2)4回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3)6回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長7回(決勝戦は9回)あるいは試合開始から1時間40分(決勝戦は2時間)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。
(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
- 11・(1)中学生の部投手の投球数は、1日最大80球以内とし、連続2日間で120球以内とする。
小学生の部投手の投球数は、1日最大65球以内とし、連続2日間で105球以内とする。
- (2)打席の途中で制限数に到達した場合は、当該打者の打席が終了するまでは投球を認める。その時制限数を超えた投球数はカウントしない。
- (3)ボークは投球数としない。ノーゲームになった試合も投球数にカウントする。申告敬遠までの当該打者への投球数はカウントする。その他、本大会は中日本ブロックHP掲載の投球数制限ガイドラインに基づき行う。
- (4)日程の変更(地区大会を含む)等で前大会と連続試合になる場合があるので、すべてのチームは「直前大会参加状況報告書」次大会の最初の試合日に、次大会主催者宛に提出しなければならない。

- 12・(1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
- (2) 守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
- (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
- (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 13・1 イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。
その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。
ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
- 14・審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの適用についての確認は認める。
- 15・監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
- 16・2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 17・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
- 18・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
- 19・小学生の部は、攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合必ず両耳付きヘルメットを着用すること。
- 20・各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具(マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ)2組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。
- 21・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 22・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 23・グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 24・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 25・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 26・試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 27・守備側のチームの監督は球審に敬遠の意思を伝えたと投手が投球することなく対戦打者を四球にすることができる(申告敬遠)。

参考

野球規則 7.01(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

(1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

(2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイブレーク実施細則》

(1) 特別規則

(イ) 中学生の部は延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は9回あるいは2時間00分を超えて(いずれか早い方)両チームの得点が等しい時は以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。

(ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。

(ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。

(ニ) この場合の代打および代走は認められる

(2) チームおよび個人の記録

チームおよび個人の記録は公式記録とするが、如何に掲げる事項に留意すること。

(イ) 投手記録

- ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点とはしない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打・無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・規定により出塁した3走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録とする。

【AED所持の確認】

- ・選手審査時にチームはAEDを所持していることを確認すること

2023年5月8日
(公財)日本少年野球連盟

新型コロナウイルス感染防止対策（5類移行）ガイドライン (2023.5.8改訂版)

《ガイドラインの目的》

新型コロナウイルス(以下、「コロナ」という。)は、5類移行後もウイルス自体は弱毒化しておらず、高齢者やがん患者・腎炎等の基礎疾患を持っている方は、今後も重症化やフレイル死亡(衰弱死等)のリスクがあり、その死亡率は、30歳成人の60歳～80歳では25倍～71倍とされており、若年層でもブレインフォグ(うつ病等)の後遺症に悩まされている病気である。

したがって、ドーム球場などの一部の施設では感染対策が求められており、当連盟としても活動に対して社会的責務があり、今後とも感染対策を取りつつ子どもたちにのびのびと野球をできる環境を提供する責務から、コロナの5類移行後も改訂した本ガイドラインを遵守する事とする。

1.ボーイズリーグの活動における基本注意事項(以下、「基本事項」という。)

(1)活動参加に際して

- ①選手・指導者・保護者等・役員等すべての関係者は、当日の体温を測り、熱・風邪 症状(喉痛、咳、痰、呼吸症状)等の体調に異常がある場合は参加不可とする
- ②感染拡大期はもとより、活動への参加を強制するのではなく、選手の保護者から同意をとり、チームとして常日ごろから活動への参加の意思を確認すること

(2)マスク着用について

- ①マスク着用は原則、個人の判断に委ねる
- ②バス、車移動の場合は、車内で騒がず、換気をすること。
換気が難しい場合はマスクを着用すること

(3)屋内での活動について

- 密にならないように注意し換気すること

(4)昼食等飲食時の注意

飲食する場合は、以下を遵守すること

- ①食事前等に手洗い、手指消毒すること
- ②保護者等が選手に密着して配膳する場合は、保護者はマスク着用が望ましい

(5)手洗い、消毒の慣行

活動の際には、こまめな手洗い・手指消毒と使用後の備品の消毒などの慣行をチームとして意識すること

(6)備品・消耗品の常備

チームは手指用消毒薬、備品用消毒薬、石鹸、体温計、ペーパータオル等を常備すること

(7)活動参加者の把握(チーム内での感染拡大防止のため)

チーム責任者は、活動における参加者を「新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿」等で管理し把握しておくこと。大会の主催者は、感染等が疑われる場合など必要に応じて、チームに対してチームで管理している「新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿」等の提出を求めることができる

(8)感染拡大期等の措置について

①選手・フロント・指導者・保護者のチーム関係者の中で同一学級や会社などの所属するグループ内でコロナ感染が広がっている場合は、その当事者は体調管理を強化し、咽頭痛等の症状が出た場合は必ず休みをとりチーム活動に参加しないこと。症状がない場合でもチーム活動内でのマスク着用を義務付け、密にならない、黙食などのこれまでの基本的な感染防止の徹底により、チーム内での感染拡大を防止する措置を設けること

②社会全体で感染爆発が起こっている時期は、改めて旧のガイドライン等の措置をとる場合がある

2.主催大会、地区大会の注意事項

(1)大会開会式、閉会式について

①開催会場の了承が必要であり、会場の規則を遵守したうえで開催すること

(2)大会運営について

①室内本部は、当面マスクを着用の上、必要最低限の者で運営し、換気を行ない、できるだけ密を避けること

②球場責任者は、開催会場の規則等にしたいがい、各担当者を配置して、感染対策に努め、消毒液・手洗い用、ハンドソープ等を設置すること(本部席、ベンチ、トイレ等)

③各チームは試合開始1時間前に大会本部に到着すること

④各チームは、大会会場に到着後、チーム責任者が登録役員・選手名簿、オーダー表、「投手投球数記録表」を本部受付に提出すること

⑤チーム責任者は1-(1)に基づき、会場到着前後には、「新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿」等により、保護者含む大会参加者全員の体温等の体調を確認・管理し、当日、発熱等の体調不良者がある場合は、直ちに帰宅させること。球場責任者等から上述の管理している参加者名簿の提示を求められた場合、速やかに大会本部または連盟・支部等に提出できる体制をとること

- ⑥試合前審査は、「大会運用細則」に従い、前試合の4回終了までに整列して行う
- ⑦但し、選手は氏名、生年月日を発声しない。球場運営責任者が指導者などに「基本事項」等を説明・確認すること
- ⑧球場入場時に大会本部役員は、チーム責任者に対して、チームの大会参加者に対しての注意事項を伝達し、全員にアルコール消毒を実施するよう指導する
- ⑨試合中は、チーム責任者は「基本事項」等の本ガイドラインで定めている感染対策についてチーム内で徹底させること(観戦保護者等含む)
- ⑩試合終了後は密を避けるために速やかに会場から解散すること
- ⑪接待・運営は密を避けて行うこと
- ⑫飲料等については、配膳する前に手洗い・消毒し、感染防止に配慮した使い捨て容器の使用を推奨する。使い捨て以外の食器等は合成洗剤で必ず洗浄することで接触感染を防ぐこと
- ⑬その他細目については、大会主催者が本ガイドラインの趣旨に基づき大会運営細目等を別途定めて大会を運営する

3.遠征・合宿等、入部歓迎会・卒部式・祝勝会等の行事について

行事等について、特に措置や制限は設けないが、以下に留意して実施すること

(1)行事開催について

- ①ブロック行事については、ブロック長が責任を持って安心・安全を確保して実施する
- ②支部行事については、支部長が責任を持って安心・安全を確保して実施する
- ③チーム行事については、チーム代表が責任を持って安心・安全を確保して実施する

(2)練習試合・遠征について

練習試合は、特に相手チームとの交流については「基本事項」を遵守すること

(3)入部歓迎会・卒部式・祝勝会・新年会等について

チーム行事については、チーム代表が責任を持って安心・安全を確保して実施する

(4)チーム行事等でのチーム内感染拡大の防止について

基本事項1-(8)-①の状況がある場合、連名・ブロック・支部やチーム責任者等は、基本事項1-(8)-①に沿って、当事者に行事への不参加を命じ、参加できる場合は、マスク等の義務等の措置をとること

4. チーム内で感染者が出た場合の対応・対策について

(1) 選手・指導者及び同居家族が陽性となった場合

- ①選手・指導者及び同居家族が陽性となった場合は、必ずチームに報告すること(普段からチーム内で連絡徹底を指導)
- ②陽性者は症状出現から5日間はチーム活動への参加を禁止する。また、5日経っても発熱が続く場合は保健所、医師等の指示に従うこと。その指示についてはチームへ報告し、参加については、チーム責任者の確認が必要である
- ③陽性患者の家族やマスクなしで密接に関わったものなど、いわゆる濃厚接触者は、感染症対策法上の定義はなくなるが、引き続き、体調管理に気をつけ、チーム活動ではマスク着用を義務付け、咽頭痛等の症状が出た場合は、チーム活動を欠席すること
- ④チーム責任者はチーム内で徹底するよう説明し、常に指導すること

(2) 大会期間中の連盟等報告について

- ①大会期間中に参加しているチーム関係者に陽性者が判明した場合は、当該チームの代表者は、速やかに大会運営本部及び支部長を通じてブロック長に報告すること
- ②大会主催者は、本通達の「基本事項」に照らして感染拡大の恐れがあり、なおかつ、陽性患者と濃厚に接触した重病リスクの高い者がチーム等大会関係者に複数人いると判断した場合は、直ちに大会を中止・延期にするか、または、当該チームと対戦・接触したチームに対する出場辞退等を検討する
- ③報告を受けたブロック長が感染拡大の恐れが高いと判断した場合は上記によらず連盟本部と協議の上、中止・延期等の決定ができることとする。また、連盟主催の大会においては、これを会長が判断する

以上、本ガイドラインを遵守した上でボーイズリーグの活動に努めることとしました、各大会主催者は感染状況に応じ 大会時に感染リスクを下げるために感染対策を付加することが出来る。

中学生投手の投球制限ガイドライン 2023 年版

中学生の部

中学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。

- ① 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする。
連続する2日間で80球を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。
また3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を40球以内とし
4連投（連続する4日間）は禁止する。
- ② 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- ④ 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、登板最終日並びに
翌日は捕手としても出場できない。
- ⑤ ボークは投球数としない。
- ⑥ 雨などのノーゲームになった試合は投球にカウントする。
- ⑦ 2年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮する事。

小学生投手の投球制限ガイドライン

小学生の部

小学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は以下のとおり制限する。

- ① 1日最大70球とし、連続する2日間で105球とする。
3連投（連続する3日間）は禁止する。
- ② 大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目70球の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ④ ボークは投球数にしない。
- ⑤ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

補足事項

- 1.ダブルヘッターの場合で、2試合に登板した場合は、連続2日間投球したとする。
- 2.また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。

◎ 投球制限ガイドラインの補足説明

(1) ③について

打者の途中で制限が来た場合とは、投球日における可能投球数の事である。

中学レギュラーの部を例にすると、初日に於いては80球を超えた場合であり、また、初日68球投げた連投2日目であれば、2日目の可能投球数52球を超えた最後の打者に適用される。

投手に3連投を予定していた場合には、初日、2日目に40球を超えると3日目は投げる事ができない。初日、2日目に於いて打者の途中であっても40球投げた時点で交代しなければ、3連投できない。41球投げれば3連投できない。（打者の途中での投手の交代は制限していない）

(2) ダブルヘッターについて

ダブルヘッターの試合は、その日の第1試合、第2試合どちらかで投げれば翌日（前日）の試合の連続扱いとする。（片方の試合に登板しなくても休みとはしない）

両方の試合に投げた場合は、1日の最大投球数80球（中学レギュラー）で連続の試合で投げたこととなり、翌日投げる場合、また前日投げている場合は、3連投の扱いとなり、1試合40球を超えていると投げられない。

「中学生投手の投球制限統一ガイドライン」の適用例

	第一日目	第二日目	第三日目	第四日目	第五日目	第六日目	備 考
投手A	80	0	80	0	80	0	80球投げた翌日には登板していないため、翌々日には80球投球できる。 (打者終了時に80球を超えても、1試合分の最大カウント数は80球)
投手B	80	40	休	80	0	80	一日目80球、二日目40球で連続する2日間で120球となったため、三日目は投手・捕手として出場できない。 (※また、2日間で80球を超えているので三日目は捕手として出場できない規定もある。投手D参照)
投手C	40	40	35	休	80	40	3日間連続40球以内であれば登板可能。ただし球数に関わらず3日間連続登板した場合は、四日目は投手・捕手として出場できない。 四日目が休みだったので、五日目80球、六日目40球の投球は可能。
投手D	40	45	休	30	60	休	一、二日目で80球を超えたため、三日目は投手・捕手として出場できない。 四、五日目で連続する2日間で80球を超えているため、六日目の3日間連続登板および捕手として出場できない。
投手E	40	40 40	休	80	0 40	休	一、二日目で40球以内の3連投をしているため、三日目は投手・捕手として出場できない。四日目は80球のため五日目は投球した時点から1試合目に登板してなくても連続する2日間で80球を超えるため六日目は投手・捕手として出場できない。
投手F	30 50	休 ※捕手可	40 40	40	休	80	ダブルヘッターで80球以内であっても、どちらかの試合で40球を超えた場合は、3連投できないが、 ※連続した2日間で80球以内なので、翌日は捕手としては出場できる。 第3日目からの3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は投手・捕手として出場できない。
投手G	40 40	0 40	休	0 40	40 40	休	3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は次の日は投手・捕手として出場できない。 1日目、2日目、5日目の第2試合においては、「打者途中で制限数を迎えた場合のみ」打者終了まで投げて球数(40以上)はカウントしない。
投手H	40 40	40 休	休	40 0	40 40	休	3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は投手・捕手として出場できない。 1日目の1試合目、4日目の第1試合、5日目の1試合目は1日の投球数の上限数に達していないため、「打席の途中で制限数があった場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。」は適用しない。

「小学生投手の投球制限統一ガイドライン」の適用例

	第一日目	第二日目	第三日目	第四日目	備 考
投手A	70	0	70	35	70球投げた翌日には登板していないため、翌々日には70球投球できる。 (打者終了時に70球を超えても、1試合分の最大カウント数は70球)
投手B	70	35	休	70	連続する二日で105球の制限があるため、一日目70球投球した場合、二日目は35球が最大となる。
投手C	30	30	休	70	一日の最大投球数70、かつ連続する二日間105球未満だが、3連投禁止のため、第三日目は登板できない。* 捕手としては出場可能
投手D	50 20	休	70	35	ダブルヘッターの登板は可能だが、一日70球制限のため、第一日目の1試合目に50球投球した場合、2試合目は20球が最大となる。 また、ダブルヘッターで2試合登板した場合、連続する二日間投球を行ったことになるため、第二日目は登板できない。* 捕手としては出場可能
投手E	35	0 70	休	70	第一日目に登板しているため、第二日目のダブルヘッターは、1試合目、2試合目どちらかしか登板できない。加えて、3連投禁止のため、第三日目は登板できない。* 捕手としては出場可能 連続する二日で105球の制限があるため、第二日目は70球が最大となる。

【小学生・中学生 共通事項】

※打席の途中で制限数があった場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。

※数字は投球数。「休」は投手・捕手として出場できない日。(小学生は捕手の出場は可)「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

選手名簿

静岡県支部 静岡葵ボーイズ

代	監	コーチ	MG	選手名																									
				背番号	主将	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
表	督	子	M	19	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
芦澤	高柳	池谷	曲田	青山	向後	青島	花村	石垣	曲田	中川	和田	杉山	佐藤	平川	岩成	山崎	青山	原田	鈴木	深澤	望月	倉永	有賀						
厚史	清彦	謙太	尚史	快翔	利来也	海都	健永	温暉	優大	太陽	龍聖	蓮祇	新	侑汰	航希	央人	快翔	星亜	太志	力吉	蓮	夏希	夢生						
				学年	3年	2年	3年	2年	1年	3年	1年	2年	1年	1年	2年	3年	2年	3年	1年	3年	3年	1年	1年	1年					

神奈川県支部 綾瀬ボーイズ

代	監	コーチ	MG	選手名																									
				背番号	主将	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
表	督	子	M	52	0	1	6	7	8	10	11	12	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
須藤	若林	安藤	新倉	田高	沖田	杉原	宇留志	井上	今藤	駒井	天久	松井	村澤	石神	横井	川野	榎棒	橋本	風間	笹山	横山	村里	海田	野元	萩原	松井	市川	瀧澤	
良則	均	勝彦	颯	知樹	玲央	龍太	幸成	颯佑	愛周	瑠生	夏颯	将人	俊希	晴琉	悠太	翔太郎	真祐	幸弥	竜之助	拓人	健太	大空	直毅	蒼梧	五吹	武志	愛夢	月唯	
				学年	3年	3年	3年	2年	2年	3年	3年	3年	2年	3年	3年	3年	2年	2年	2年	2年	3年	3年	2年	3年	3年	3年	3年	3年	3年

静岡県支部 浜松ボーイズ

代	監	コーチ	MG	選手名																									
				背番号	主将	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
表	督	子	M	88	0	2	4	8	10	11	12	19	25	27	40	41	49	51	55	66	77	92	95						
山本	中村	鈴木	畑中	久米	梅谷	内藤	堀内	柳田	齋藤	近藤	栗倉	大高	石田	仲秋	古田	岡田	村井	橋本	小杉	伊原	井口	細川	柴田						
浩士	永司	広達	紳吾	徠翔	陸翔	大翔	遥斗	優	叶夢	悠斗	亨真	颯介	新	句輝	句之介	風輝	琉風	瑠偉	亜蓮	祐翔	征大	旺芯	海真						
				学年	3年	3年	3年	2年	3年	3年	2年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年					

静岡県支部 菊川ボーイズ

代	監	コーチ	MG	選手名																								
				背番号	主将	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
表	督	子	M	24	0	10	11	13	14	15	18	19	21	25	26	27	35	40	51	55	58	63	64	73	80	82	87	88
池田	鈴木	矢部	鈴木	瀧美	小金井	萩原	矢部	鈴木	國川	原田	齋藤	鈴木	荒木	矢部	長塚	大岩	句坂	岩田	笹瀬	西尾	小林	松本	新	大森	望月	加藤	佐藤	井村
竜司	修平	真人	芳美	凧海	琳王	来玖	侑	奏	翔輝	阿流把	隆太	颯真	墨翔	遠太	颯汰	翔斗	虎太郎	瑠生	琢斗	颯月	蒼空	惟牙	智也	寛己	理人	永遠	楓馬	健志
				学年	3年	3年	2年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	2年	2年	3年	2年	3年	3年	2年	3年	3年	2年

選手名簿

静岡県支部 磐田ボーイズ

代 表 中 村 好 寛	監 督 吉 村 正 之	コ ー チ 中 山 泰 成	M G 竹 下 道 世	背 番 号	主将	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
					39	0	1	6	7	12	14	16	17	18	19	24	25	26	27	28	29	32	33	34	36	37	47	55	99
				選手名	中山 嵩也	鈴木 琥太郎	仲儀 遥翔	下川 大翔	榎谷 太寿	松本 侑大	市川 太陽	大石 比呂	竹下 陽那太	長谷川 力	大石 葉琉磨	坂下 聖	中村 太紀	大野 陽平	岡本 行慳	水谷 映太	鈴木 泰介	須田 湮斗	浅田 陽天	木下 翔瑛	磯部 祐三	杉山 栄	高尾 悠翔	鈴木 琉喜弥	内山 月斗
				学年	3年	2年	2年	3年	2年	2年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	2年	3年	3年	3年	3年	2年	2年	2年	3年	3年	2年	

静岡県支部 大井川ボーイズ

代 表 森 重 明	監 督 江 塚 諭	コ ー チ 酒 井 秀 敏	M G 大 井 哲 平	背 番 号	主将	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
					23	0	8	9	11	14	16	17	22	24	28	29	32	33	37	44	46	47	51	56	77	80	99		
				選手名	袴田 皓大	吉田 勘汰	石橋 弘輝	鈴木 琉生	古川 奈尚	大井 勇翔	三橋 智成	北川 翼	曾根 蒼威	加藤 禅己	小宮 昇真	杉田 倭	杉山 満己	栗城 壘行	鈴木 隆太	市川 航成	石切山 湊心	松本 昇磨	岡村 彰真	山本 創輔	永嶋 玲音	鈴木 遥斗	瀧野 七海		
				学年	3年	2年	3年	2年	2年	2年	2年	2年	2年	2年	2年	2年	2年	2年	2年	2年	3年								

静岡県支部 駿東ボーイズ

代 表 鈴 木 貴 司	監 督 松 尾 良 太	コ ー チ 中 川 清 猛	M G 岩 崎 望	背 番 号	主将	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
					6	0	1	2	3	7	8	10	11	12	15	16	17	18	27	29	31	32	34	38	55	63	66		
				選手名	宮崎 煌也	佐藤 凜空	大木 暖斗	井原 大翔	品川 幹太	大嶽 壮生	原田 楓太	杉山 冬馬	長澤 幸芽	林 風雅	原 千春	岩崎 叶空	池田 隆之助	鈴木 陸翔温	高山 佳士	齋藤 直将	小津 孝太朗	石田 禅	石井 裕基	長島 優希	岩崎 虹空	井上 絢太	豊島 捷生		
				学年	3年	2年	3年	2年	3年	3年	3年	2年	2年	2年	2年	2年	2年	2年	3年	2年	2年								

静岡県支部 富士ボーイズ

代 表 瀧 澤 佳 孝	監 督 瀧 澤 将 美	コ ー チ 栗 田 靖 之	M G 横 田 大 陸	背 番 号	主将	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
					51	1	7	11	17	18	19	21	22	24	25	27	31	33	34	41	55	77	99						
				選手名	芦澤 憲一	中村 咲愛	佐橋 颯汰	海野 龍央	栗田 青葉	大川 昇真	藤原 優志	杉本 連	山本 虎太郎	内海 穰	深瀬 一霸	窪寺 耕二郎	杉山 遠	吉田 創哉	谷口 翔斗	小林 然	深澤 青空	村上 淳彦	横田 悠真						
				学年	3年	2年	3年	2年	2年	2年	2年	3年	2年	2年	3年	2年	2年	3年	2年	3年	2年	2年	2年	2年					

得点記録表

月 日 球場 () 回戦 試合時間 /

チーム名	1	2	3	4	5	6	7			計

月 日 球場 () 回戦 試合時間 /

チーム名	1	2	3	4	5	6	7			計

月 日 球場 () 回戦 試合時間 /

チーム名	1	2	3	4	5	6	7			計

月 日 球場 () 回戦 試合時間 /

チーム名	1	2	3	4	5	6	7			計

月 日 球場 () 回戦 試合時間 /

チーム名	1	2	3	4	5	6	7			計

月 日 球場 () 回戦 試合時間 /

チーム名	1	2	3	4	5	6	7			計

----- ✕ -----